



2013年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2012年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野路 國夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 浦野 邦子

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 2012年11月12日

配当支払開始予定日

2012年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2013年3月期第2四半期の連結業績(2012年4月1日～2012年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年3月期第2四半期	930,849	△5.6	111,264	△16.3	105,384	△19.1	66,112	△30.2
2012年3月期第2四半期	985,867	14.7	132,949	27.9	130,243	30.1	94,675	48.5

(注) 四半期包括利益 2013年3月期第2四半期 23,483百万円 (△33.5%) 2012年3月期第2四半期 35,328百万円 (94.4%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2013年3月期第2四半期	69.42	69.37
2012年3月期第2四半期	97.82	97.74

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2013年3月期第2四半期	2,204,077	1,055,550	1,011,215	45.9	1,061.84
2012年3月期	2,320,529	1,057,457	1,009,696	43.5	1,060.31

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2012年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2013年3月期	—	24.00	—	—	—
2013年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2013年3月期の連結業績予想(2012年4月1日～2013年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,970,000	△0.6	262,000	2.2	252,000	1.0	157,000	△6.0	164.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- (注)詳細は添付資料6ページ「(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更/会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2013年3月期2Q	983,130,260 株	2012年3月期	983,130,260 株
② 期末自己株式数	2013年3月期2Q	30,803,480 株	2012年3月期	30,869,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2013年3月期2Q	952,319,152 株	2012年3月期2Q	967,852,046 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2013年3月期第2四半期（3ヵ月）の連結業績（2012年7月1日～2012年9月30日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3ヵ月）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年3月期 第2四半期	460,901	△6.3	55,546	△14.0	54,142	△12.4	33,988	△12.8
2012年3月期 第2四半期	491,690	19.2	64,580	29.6	61,802	23.6	38,969	17.8

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2013年3月期 第2四半期	35.69	35.66
2012年3月期 第2四半期	40.27	40.23

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 連結財務諸表	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
（3）四半期連結純資産計算書	P. 11
（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
（5）継続企業の前提に関する注記	P. 13
（6）セグメント情報	P. 13
（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2013年3月期をゴールとする、3カ年の中期経営計画「Global Teamwork for Tomorrow」を掲げ、①製品・部品の ICT（情報通信技術）化の推進、②環境対応・安全性向上の商品開発、③「戦略市場」での販売・サービス体制拡充、④現場力の強化による継続的改善の推進、を重点項目として活動しています。

2013年3月期の第2四半期（2012年4月1日から2012年9月30日まで）において、連結売上高は、9,308億円（前年同期比5.6%減）となりました。

建設機械・車両部門においては、一般建設機械分野では前年同期に比べて日本、北米の販売は増加したものの、中国の販売が半減したため売上げは減少しました。一方、鉱山機械分野では石炭価格の下落の影響を受け、インドネシアを中心に販売は減速しましたが、石炭以外の鉱山向けの本体、部品・サービスの販売は堅調であったことから売上げは増加しました。しかしながら、一般建設機械分野の落ち込みを、鉱山機械分野で補えず、建設機械・車両部門の売上げは減少しました。

産業機械他部門においては、自動車業界向けの大型プレスやエンジン製造向けの工作機械の販売が増加したものの、太陽電池市場向けのシリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの販売が大幅に減少した影響が大きく、売上げは減少しました。

利益につきましては、販売価格および製造原価の改善等に継続的に注力しましたが、売上げ数量の減少に加え、為替がユーロに対し前年同期に比べ円高となった影響もあり、建設機械・車両部門および産業機械他部門とも減益となり、営業利益は1,112億円（前年同期比16.3%減）、売上高営業利益率は前年同期に比べ1.5ポイント下回る12.0%、税引前四半期純利益は1,053億円（前年同期比19.1%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は661億円（前年同期比30.2%減）と、それぞれ前年同期を下回りました。

（金額単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 79.6円 1ユーロ = 101.5円 1元 = 12.6円	前第2四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 79.2円 1ユーロ = 113.5円 1元 = 12.3円	増減率 % [(A-B)/B]
売上高	930,849	985,867	△ 5.6
建設機械・車両	839,150	856,408	△ 2.0
産業機械他	97,199	136,397	△ 28.7
消去	△ 5,500	△ 6,938	-
セグメント利益	111,280	132,740	△ 16.2
建設機械・車両	109,581	120,154	△ 8.8
産業機械他	3,301	15,127	△ 78.2
消去又は全社	△ 1,602	△ 2,541	-
営業利益	111,264	132,949	△ 16.3
税引前四半期純利益	105,384	130,243	△ 19.1
当社株主に帰属する四半期純利益	66,112	94,675	△ 30.2

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて2012年4月から9月までの6カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

●コマツグループにおける「市場」の位置づけ

伝統市場	日本、北米、欧州
戦略市場	中国、中南米、アジア、オセアニア、アフリカ、中近東、CIS

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

一般建設機械分野では、前年同期に比べて日本、北米の需要が増加しましたが、中国の油圧ショベルの需要が半減したため全体の需要は減少に転じました。鉱山機械分野では、石炭価格の下落の影響が出ているものの、本体、部品・サービスとも需要は堅調に推移しました。その結果、建設機械・車両部門の売上高は8,391億円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は1,095億円（前年同期比8.8%減）となりました。

企業体質の強化を進めるために、販売価格および製造原価の改善、為替や需要の変動にもフレキシブルに対応できる体制作りなどに継続的に取り組みました。加えて、当期より生産部門では国内拠点の電力使用量削減を本格化しました。また、部品分野においては、主に戦略市場や鉱山分野で大きな需要を持つバケットやツース等の戦略部品事業の体制の強化を図りました。更に、新興国での機械化の進展により中長期的な成長を見込む林業分野においては、スウェーデンの林業機械のアタッチメントメーカーを買収することを決定しました。

商品分野では北米、欧州に次いで、日本でも本年7月より新排出ガス規制に対応した商品を導入し、購入後のトータルライフサイクルコストの低減と長期間稼働に貢献するための新サービスプログラム「KOMATSU CARE（コマツ・ケア）」の提供も同時に開始しました。また、各市場でのハイブリッド油圧ショベル「HB205/215LC」の販売拡大に引き続き取り組みました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間 [A]	前第2四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [A-B]	増減率 % [(A-B)/B]
日本	132,425	129,042	3,383	2.6
米州	258,623	217,458	41,165	18.9
欧州・CIS	92,156	99,395	△ 7,239	△ 7.3
中国	62,528	114,295	△ 51,767	△ 45.3
アジア※・オセアニア	230,122	228,184	1,938	0.8
中近東・アフリカ	61,814	65,300	△ 3,486	△ 5.3
合計	837,668	853,674	△ 16,006	△ 1.9

※日本および中国を除く

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

日本では、2000年頃から続いていた中古車輸出台数が新車需要を上回るストック調整が終了し、東日本大震災からの復旧・復興向けの建設機械需要が、レンタル向けを中心に伸長したことから、需要は好調に推移し、売上げは前年同期を上回りました。

また、本年7月より、新排出ガス規制に対応した商品を導入し、「KOMATSU CARE」の提供も開始しました。フォークリフト事業においては、建設機械で培ってきた油圧・制御技術を結集した油圧駆動式の新型フォークリフト「FHシリーズ」を他の市場に先駆けて日本市場で導入を開始し、販売拡大に注力しました。

<米州>

北米では、住宅建設向けの需要の回復に加え、レンタル、エネルギー、鉱山向けが好調に推移し、需要は増加しました。新排出ガス規制に対応した商品の市場導入が順調に進み、「KOMATSU CARE」による納入後のサービス活動も効果を挙げています。

中南米では、最大市場であるブラジルの一般建設機械分野の需要が弱含みながら、チリやペルーを中心に銅鉱山向けの需要が好調であり、全体としては堅調に推移しました。これらの結果、米州の売上げは前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、財政不安による景気の不透明感がある中、主要市場である西欧のドイツ、フランス、イギリスでの需要は堅調に推移し、CISでも、金鉱山向けや土木建設向けを中心に需要が堅調に推移したものの、ユーロ、ルーブルが前年同期と比べて円高に推移したことから、欧州・CISの売上げは前年同期を下回りました。

欧州では、昨年導入した新排出ガス規制に対応した商品の販売拡大に注力しました。CISでは、昨年の太平洋国立大学に続き、極東連邦大学と建設・鉱山・道路機械分野の人材育成を協力して行うことで本年9月に合意しました。

<中国>

中国では、政府による金融緩和政策が実施されたものの、依然として新規プロジェクトの着工に目立った動きはなく、油圧ショベルの需要は前年同期と比べてほぼ半減し、売上げは前年同期を大きく下回りました。

大幅な需要の減少に対し、「KOMTRAX（機械稼働管理システム）」を最大限駆使するなど、適正水準での在庫管理に努めました。本年9月に発生した反日デモについては、山東省の一部工場で被害が出たことから、操業を一時停止しましたが、被害が軽微であったこともあり、その後早期に再開しました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場であるインドネシアにおいて、燃料炭価格の下落の影響を受け、鉱山向けの需要が減速しているものの、土木建設・農業・林業分野は引き続き堅調に推移しました。加えてタイでは、昨年の洪水被害からの復興向けの需要が伸長しました。また、オーストラリアでは、鉄鉱山向け需要に加え、一般建設機械需要が好調に推移しました。これらの市場環境を背景として、アジア・オセアニアの売上げは前年同期を上回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東・アフリカでは、アフリカの鉱山向けを中心に需要が堅調に推移したものの、一部地域で政情が不

安定な状況が続いていることなどにより、売上げは前年同期を下回りました。

アフリカ市場においては、中長期的な鉱山開発やインフラ整備向けの継続的な市場拡大が見込まれるため、南アフリカで「KOMTRAX」を標準装備した建設機械を導入するとともに、そこから得られる機械データの活用により部品・サービスの販売促進活動を進めました。また、部品供給体制改善のため、部品を保管する倉庫（デポ）を南部アフリカ地域の販売代理店と連携し本年4月に開設するなど、販売・プロダクトサポート体制の強化に引き続き取り組みました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、自動車業界向けの大型プレスやエンジン製造向けの工作機械の販売が増加したものの、太陽電池市場向けのシリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの販売が大幅に減少したことに加え、仮設ハウスの需要も一巡しました。これらの結果、産業機械他部門の売上高は971億円（前年同期比28.7%減）、セグメント利益は33億円（前年同期比78.2%減）となりました。

自動車業界の設備投資は、中長期では新興国を中心に伸長することが見込まれており、工作機械分野では販売・サービス体制の更なる拡充を図りました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べ1,164億円減の2兆2,040億円となりました。有利子負債残高は、長期債務の返済等により、前期末に比べ278億円減の6,199億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ15億円増の1兆112億円となりました。それらの結果、株主資本比率は前期末に比べ2.4ポイント増の45.9%となり、ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の0.56に対して、0.53となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

＜キャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、受取手形及び売掛金の減少等により、前年同期の402億円の収入から560億円増加し、963億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入等により、632億円の支出（前年同期比15億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期債務の返済等により、319億円の支出（前年同期は275億円の収入）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ31億円減少し、799億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

本決算短信に記載の2013年3月期の連結業績予想は本年7月31日に見直したものです。

2. その他の情報

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当連結会計年度より、会計基準アップデート2011-05「包括利益の表示」を適用しています。同アップデートは、包括利益の構成要素を1つの計算書または連続した2つの計算書（損益計算書と包括利益計算書）により報告することを規定しています。ただし、会計基準アップデート2011-12「会計基準アップデート2011-05における、その他の包括利益累計額から振替える項目の表示に関する改訂の適用日の延期」において、その他の包括利益累計額からの組替調整額の表示に関する改訂の適用日は延期となりました。同アップデートは開示に係る規定であるため、適用による当社の財政状態および経営成績への影響はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2012年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2012年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	83,079		79,943	
定期預金	907		199	
受取手形及び売掛金	559,749		472,713	
たな卸資産	612,359		602,903	
繰延税金及びその他の流動資産	144,278		137,752	
流動資産合計	1,400,372	60.3	1,293,510	58.7
長期売上債権	184,294	8.0	187,352	8.5
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	20,565		20,034	
投資有価証券	54,192		43,119	
その他	2,582		2,192	
投資合計	77,339	3.3	65,345	3.0
有形固定資産	529,656	22.8	534,630	24.2
営業権	31,229	1.4	30,422	1.4
その他の無形固定資産	57,953	2.5	52,549	2.4
繰延税金及びその他の資産	39,686	1.7	40,269	1.8
資産合計	2,320,529	100.0	2,204,077	100.0

区分	前連結会計年度末 (2012年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2012年9月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	215,824		230,303	
長期債務 － 1年以内期限到来分	119,457		120,893	
支払手形及び買掛金	273,460		219,642	
未払法人税等	23,195		17,634	
繰延税金及びその他の流動負債	231,774		204,970	
流動負債合計	863,710	37.2	793,442	36.0
固定負債				
長期債務	312,519		268,776	
退職給付債務	50,685		49,730	
繰延税金及びその他の負債	36,158		36,579	
固定負債合計	399,362	17.2	355,085	16.1
負債合計	1,263,072	54.4	1,148,527	52.1
(純資産の部)				
資本金				
	67,870		67,870	
資本剰余金				
	138,384		138,583	
利益剰余金				
利益準備金	37,954		38,254	
その他の剰余金	951,395		997,144	
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 142,389		△ 187,210	
自己株式	△ 43,518		△ 43,426	
株主資本合計	1,009,696	43.5	1,011,215	45.9
非支配持分	47,761	2.1	44,335	2.0
純資産合計	1,057,457	45.6	1,055,550	47.9
負債及び純資産合計	2,320,529	100.0	2,204,077	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2011年 4月 1日 至 2011年 9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2012年 4月 1日 至 2012年 9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	985,867	100.0	930,849	100.0
売上原価	712,988	72.3	678,085	72.8
販売費及び一般管理費	140,139	14.2	141,484	15.2
その他の営業収益 (△費用)	209	0.0	△ 16	△ 0.0
営業利益	132,949	13.5	111,264	12.0
その他の収益 (△費用)	△ 2,706		△ 5,880	
受取利息及び配当金	2,085	0.2	2,268	0.2
支払利息	△ 3,655	△ 0.4	△ 4,506	△ 0.5
その他 (純額)	△ 1,136	△ 0.1	△ 3,642	△ 0.4
税引前四半期純利益	130,243	13.2	105,384	11.3
法人税等	32,262	3.3	34,716	3.7
持分法投資損益調整前四半期純利益	97,981	9.9	70,668	7.6
持分法投資損益	1,034	0.1	568	0.1
四半期純利益	99,015	10.0	71,236	7.7
非支配持分に帰属する四半期純利益	△ 4,340	△ 0.4	△ 5,124	△ 0.6
当社株主に帰属する四半期純利益	94,675	9.6	66,112	7.1
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	97.82 円		69.42 円	
希薄化後	97.74 円		69.37 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2011年 4月 1日 至 2011年 9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2012年 4月 1日 至 2012年 9月30日	
	金額 (百万円)		金額 (百万円)	
四半期純利益	99,015		71,236	
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後				
外貨換算調整勘定	△ 55,736		△ 43,822	
未実現有価証券評価損益	△ 8,196		△ 6,513	
年金債務調整勘定	△ 435		1,202	
未実現デリバティブ評価損益	680		1,380	
合計	△ 63,687		△ 47,753	
四半期包括利益 (△損失)	35,328		23,483	
非支配持分に帰属する四半期包括利益 (△損失)	264		2,192	
当社株主に帰属する四半期包括利益 (△損失)	35,064		21,291	

(第2四半期連結会計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2011年 7月 1日 至 2011年 9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2012年 7月 1日 至 2012年 9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	491,690	100.0	460,901	100.0
売上原価	356,351	72.5	334,930	72.7
販売費及び一般管理費	70,711	14.4	69,955	15.2
その他の営業収益 (△費用)	△ 48	△ 0.0	△ 470	△ 0.1
営業利益	64,580	13.1	55,546	12.1
その他の収益 (△費用)	△ 2,778		△ 1,404	
受取利息及び配当金	790	0.2	952	0.2
支払利息	△ 1,767	△ 0.4	△ 2,383	△ 0.5
その他 (純額)	△ 1,801	△ 0.4	27	0.0
税引前四半期純利益	61,802	12.6	54,142	11.7
法人税等	21,126	4.3	17,572	3.8
持分法投資損益調整前四半期純利益	40,676	8.3	36,570	7.9
持分法投資損益	453	0.1	338	0.1
四半期純利益	41,129	8.4	36,908	8.0
非支配持分に帰属する四半期純利益	△ 2,160	△ 0.4	△ 2,920	△ 0.6
当社株主に帰属する四半期純利益	38,969	7.9	33,988	7.4
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	40.27 円		35.69 円	
希薄化後	40.23 円		35.66 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2011年 7月 1日 至 2011年 9月30日	当第2四半期連結会計期間 自 2012年 7月 1日 至 2012年 9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	41,129	36,908
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	△ 45,074	△ 5,022
未実現有価証券評価損益	△ 5,953	△ 2,081
年金債務調整勘定	△ 239	638
未実現デリバティブ評価損益	160	19
合計	△ 51,106	△ 6,446
四半期包括利益 (△損失)	△ 9,977	30,462
非支配持分に帰属する四半期包括利益 (△損失)	△ 1,479	2,760
当社株主に帰属する四半期包括利益 (△損失)	△ 8,498	27,702

(3) 四半期連結純資産計算書

前第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

(金額単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前々期末残高(2011年3月31日現在)	67,870	140,523	34,494	847,153	△131,059	△35,138	923,843	48,837	972,680
現金配当				△19,369			△19,369	△5,921	△25,290
利益準備金への振替			2,667	△2,667			-		-
持分変動及びその他		△146					△146	△4,089	△4,235
四半期純利益				94,675			94,675	4,340	99,015
その他の包括利益(△損失) - 税控除後									
外貨換算調整勘定					△51,813		△51,813	△3,923	△55,736
未実現有価証券評価損益					△8,196		△8,196	-	△8,196
年金債務調整勘定					△435		△435	-	△435
未実現デリバティブ評価損益					833		833	△153	680
四半期包括利益							35,064	264	35,328
新株予約権の付与及び行使		248					248		248
自己株式の購入等						△1,136	△1,136		△1,136
自己株式の売却等		120				190	310		310
前第2四半期末残高(2011年9月30日現在)	67,870	140,745	37,161	919,792	△190,670	△36,084	938,814	39,091	977,905

当第2四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年9月30日)

(金額単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前期末残高(2012年3月31日現在)	67,870	138,384	37,954	951,395	△142,389	△43,518	1,009,696	47,761	1,057,457
現金配当				△20,009			△20,009	△5,652	△25,661
利益準備金への振替			300	△300			-		-
持分変動及びその他							-	34	34
四半期純利益				66,112			66,112	5,124	71,236
その他の包括利益(△損失) - 税控除後									
外貨換算調整勘定					△41,077		△41,077	△2,745	△43,822
未実現有価証券評価損益					△6,513		△6,513	-	△6,513
年金債務調整勘定					1,196		1,196	6	1,202
未実現デリバティブ評価損益					1,573		1,573	△193	1,380
四半期包括利益							21,291	2,192	23,483
新株予約権の付与及び行使		199					199		199
自己株式の購入等						△15	△15		△15
自己株式の売却等				△54		107	53		53
当第2四半期末残高(2012年9月30日現在)	67,870	138,583	38,254	997,144	△187,210	△43,426	1,011,215	44,335	1,055,550

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 連結累計期間 自 2011年 4月 1日 至 2011年 9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2012年 4月 1日 至 2012年 9月30日
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	99,015	71,236
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	43,681	42,544
法人税等繰延分	△ 2,521	△ 1,518
有価証券及び投資有価証券売却損益	△ 91	81
有形固定資産売却損益	△ 209	△ 249
固定資産廃却損	1,006	800
未払退職金及び退職給付債務の増減	357	1,077
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	17,663	54,536
たな卸資産の増減	△ 82,021	△ 23,186
支払手形及び買掛金の増減	△ 27,196	△ 47,492
未払法人税等の増減	△ 15,055	△ 4,777
その他(純額)	5,644	3,255
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	40,273	96,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 58,984	△ 69,028
固定資産の売却	4,910	3,801
売却可能投資有価証券の売却	414	423
売却可能投資有価証券等の購入	△ 1,124	△ 3
子会社及び持分法適用会社株式の取得(現金取得額との純額)	△ 7,786	283
貸付金の回収	1,730	508
貸付金の貸付	△ 160	-
定期預金の増減	△ 664	760
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 61,664	△ 63,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達	80,478	44,747
長期債務の返済	△ 29,609	△ 74,453
短期債務の増減(純額)	43,316	27,804
キャピタルリース債務の減少	△ 38,142	△ 3,648
自己株式の売却及び取得(純額)	△ 853	47
配当金支払	△ 19,369	△ 20,009
その他(純額)	△ 8,266	△ 6,438
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	27,555	△ 31,950
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 5,583	△ 4,237
現金及び現金同等物純増減額	581	△ 3,136
現金及び現金同等物期首残高	84,224	83,079
現金及び現金同等物四半期末残高	84,805	79,943

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	853,674	132,193	985,867	—	985,867
(2) セグメント間の内部売上高	2,734	4,204	6,938	△ 6,938	—
計	856,408	136,397	992,805	△ 6,938	985,867
セグメント利益	120,154	15,127	135,281	△ 2,541	132,740

当第2四半期連結累計期間（自 2012年4月1日 至 2012年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	837,668	93,181	930,849	—	930,849
(2) セグメント間の内部売上高	1,482	4,018	5,500	△ 5,500	—
計	839,150	97,199	936,349	△ 5,500	930,849
セグメント利益	109,581	3,301	112,882	△ 1,602	111,280

前第2四半期連結会計期間（自 2011年7月1日 至 2011年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	418,350	73,340	491,690	—	491,690
(2) セグメント間の内部売上高	1,428	2,488	3,916	△ 3,916	—
計	419,778	75,828	495,606	△ 3,916	491,690
セグメント利益	59,268	6,283	65,551	△ 923	64,628

当第2四半期連結会計期間（自 2012年7月1日 至 2012年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	408,747	52,154	460,901	—	460,901
(2) セグメント間の内部売上高	627	1,959	2,586	△ 2,586	—
計	409,374	54,113	463,487	△ 2,586	460,901
セグメント利益	55,379	925	56,304	△ 288	56,016

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間（自2011年4月1日至2011年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自2012年4月1日至2012年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	191,433	224,308	100,570	159,875	244,372	65,309	985,867
当第2四半期連結累計期間	178,916	268,437	99,572	75,331	246,774	61,819	930,849

前第2四半期連結会計期間（自2011年7月1日至2011年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自2012年7月1日至2012年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	107,502	115,246	46,924	57,971	128,339	35,708	491,690
当第2四半期連結会計期間	98,190	139,347	44,498	28,020	116,678	34,168	460,901

※ 日本及び中国を除く。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。